

消化器外科術後せん妄に対するリスク因子に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

術後せん妄(Postoperative Delirium:POD)は、入院期間の延長、死亡率の上昇など臨床的に重要な病態であることが報告されています。PODは患者本人の生活の質(QOL)に大きな影響を与えるだけでなく、医療資源の増加や医療費の負担にも直結するため、その予防と早期対応は外科領域における重要課題です。

一方、Comorbidity Polypharmacy Score (CPS)は、併存疾患数と内服薬数の総数で求められ、外傷患者の再受診に関与しているなど報告があります。しかし、PODとの関連については十分な検討がなされていません。

本研究は、CPSを用いたリスク評価が、術後せん妄の予測に寄与する可能性があるため、消化器疾患に対して緊急全身麻酔下手術を行なった患者におけるせん妄に対するリスク因子について解析します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2024年3月～2024年6月に当院で消化器疾患に対して緊急で全身麻酔手術を受けられた方

使用する試料・情報

術前(年齢、性別、CPS)、術中(腹腔鏡使用、手術時間、出血量、輸血の有無)、術後(在院日数、食事までの期間)因子など

使用開始予定日：2025年10月31日

研究予定期間

2025年10月31日～2030年10月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 外科 甲斐田 剛圭

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 甲斐田 剛圭

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)